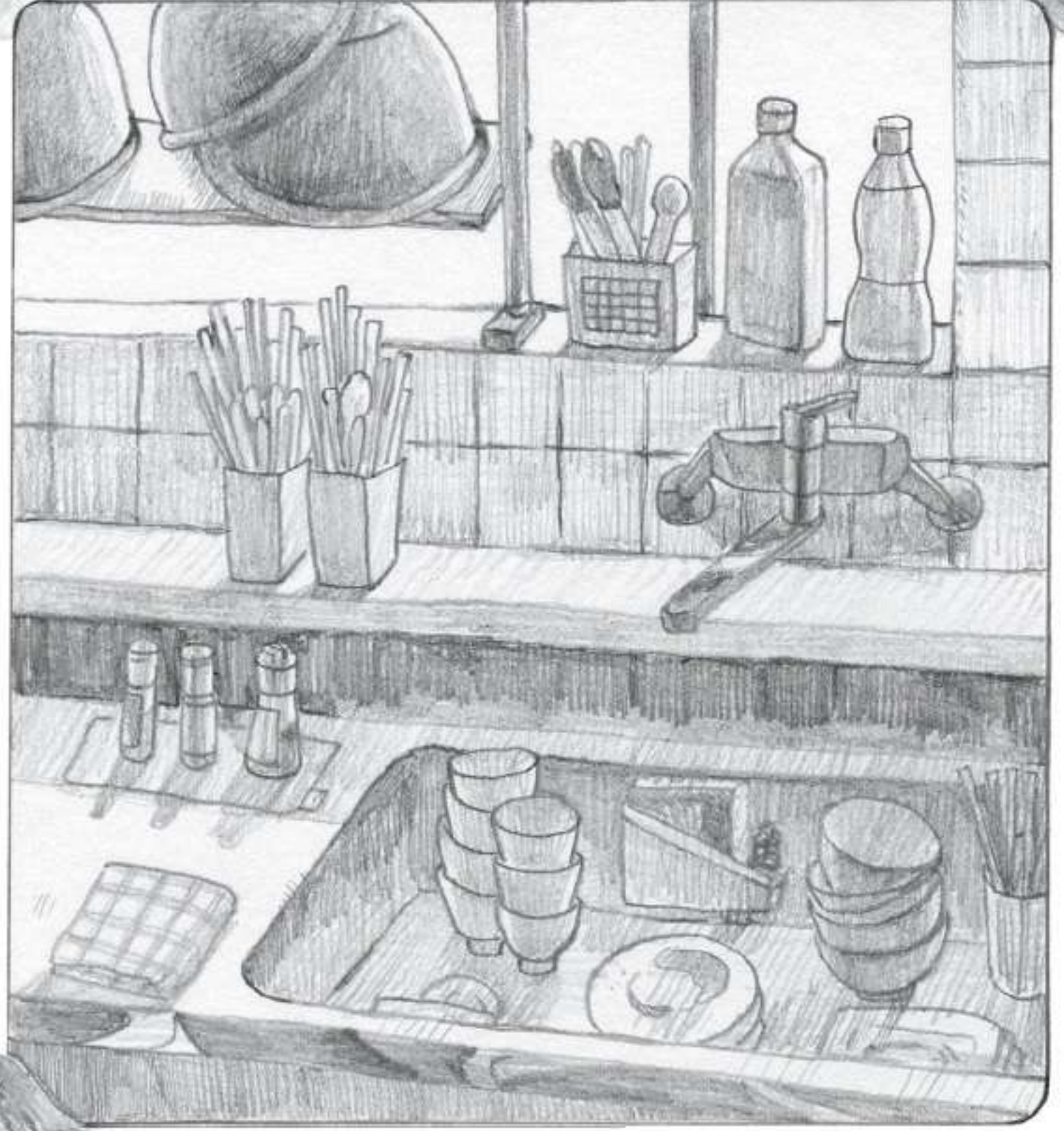




則 座 初 音



第1島 りとうりゅうがく
ドキドキ離島留学



NAKAZONO TIYOKO

中園 千代子

りとうりゅうがく
離島留学で里親を 24 年間
つと
務めている大ベテラン



ITO AOI
伊藤 碧

りとうりゅうがく
東京から離島留学に
来た小学4年生
明日からの登校が不安



はい、おはよう
朝ごはんにしようか



えっと...お、
おはようございます...



朝、起きたらまず
何て言うんだっけ?

え!?



ごはんを食べる
時は何て言う?

えっと...
いただきます!

いただきます

明日から
学校が始まるね
不安かい?

え、

えっと...はい。

前の学校では...

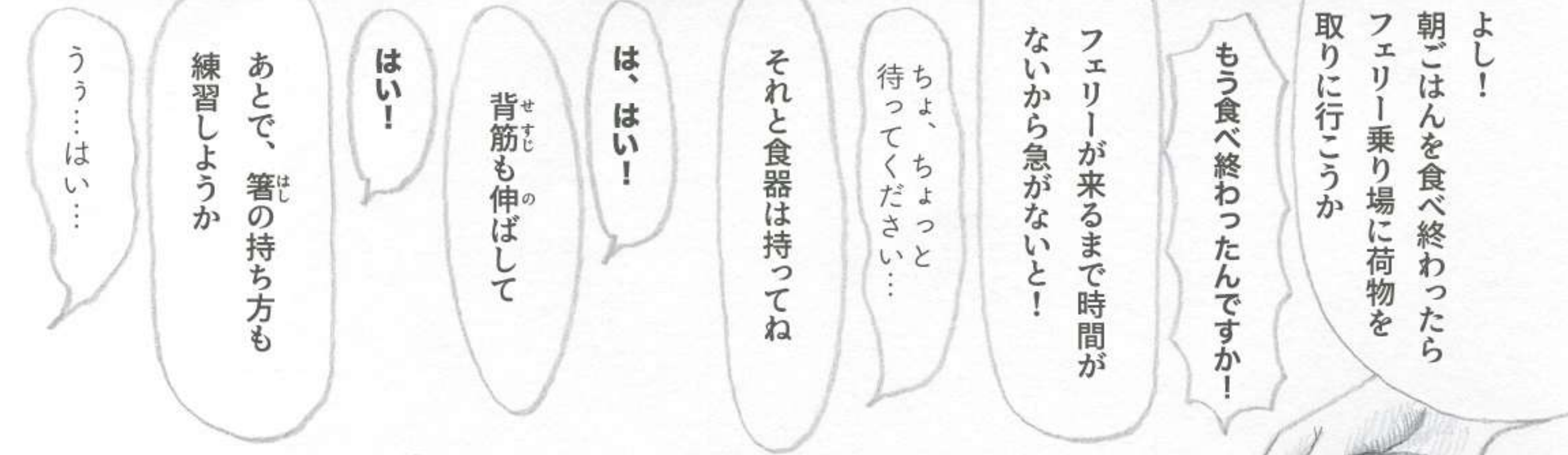
ううん、

何でも...

ないです...

...まだ学校に行っ
ないのには?

だって、どんな人
たちか知らない
ですし...



みんなのこと…?

島のこと
島の人のこと
みんなのことを
教えてあげる

え!?

今日は一日、
私についてきなさい!

…はい

そういうえば、碧はここに来た
ばかりだから、このことを
何も知らないだろう?

グスン…

そうなの…!?

今はあんなに元気で
しっかりしてるけど
島に来た時は元気がなくて
笑顔もなかったのよ

います

今、うちには5人の
お兄さんお姉さんが
いるでしょ?

強く成長…

留学でこの島に来た
子たちがどんな風に
強く成長したかってこと

うう…はい…

あとで、箸の持ち方も
練習しようか

はい!

背筋も伸ばして

は、はい!

それと食器は持ってね

ちょ、ちよっと
待ってください…

フェリーが来るまで時間
がないから急がないと!

もう食べ終わったんですか!

よし!
朝ごはんを食べ終わったら
フェリー乗り場に荷物を
取りに行こうか

カチャ
カチャ



しまめちしき

島にはフェリーで食料や生活用品が^{とど}届くんだ！
潮の^{しお}香りがするお^{とど}届けものだ～



第2島

だっしゅつ
脱出！ゲーム依存症！
いぞんしょう



今から何しに行くんですか？



これからフェリーでみんなのご飯や服、本が届くから、
それを取りに行くんだよ。
碧のお父さんとお母さんからも何か届くかもしれないね。

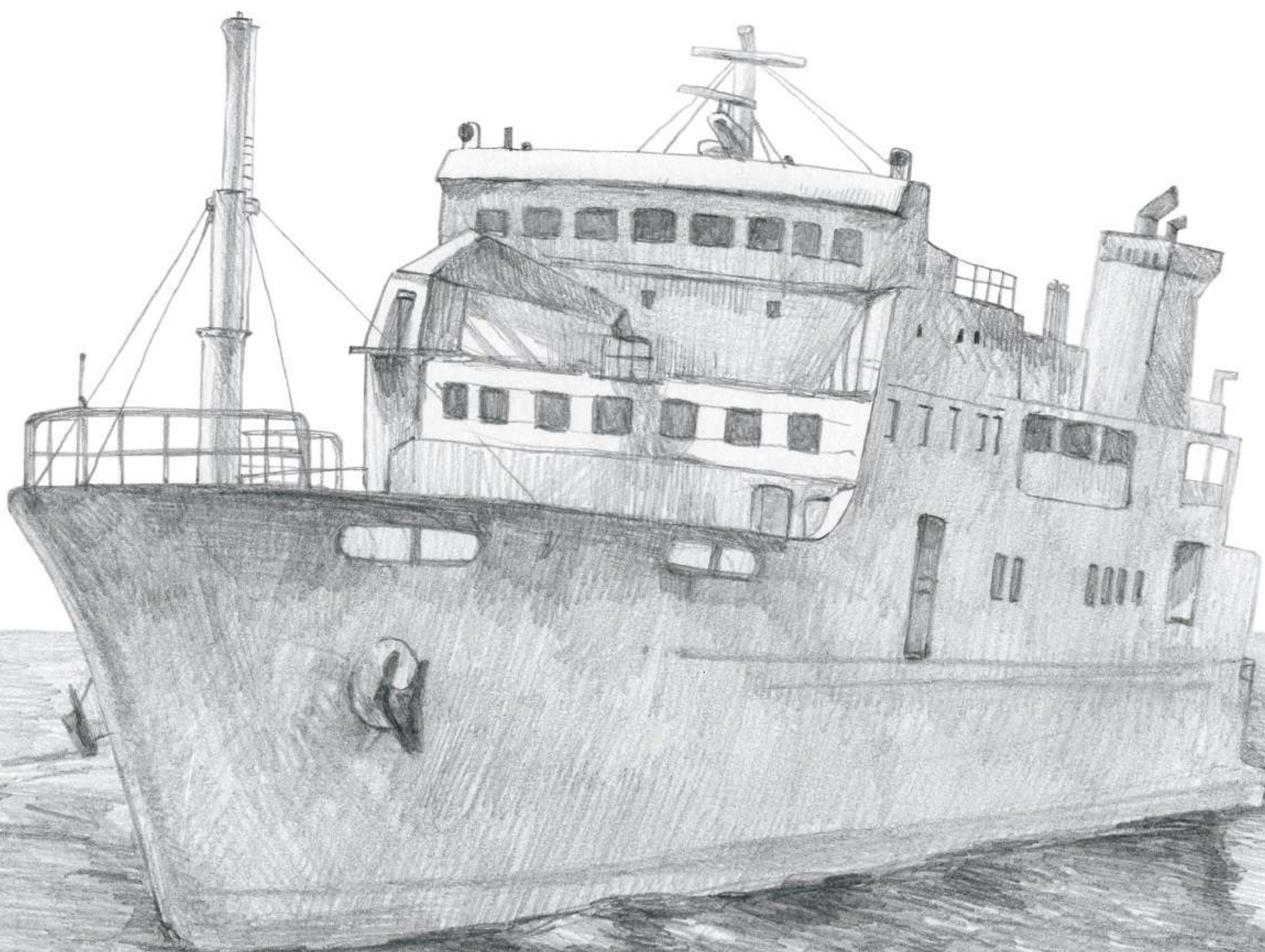


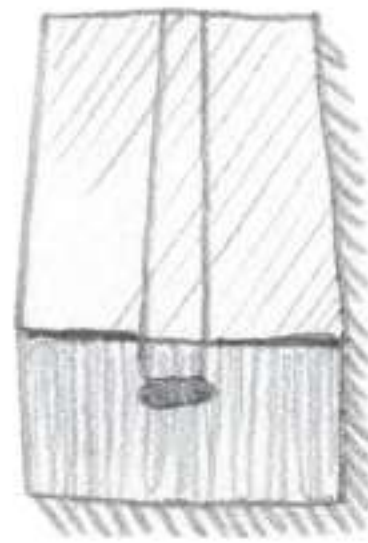
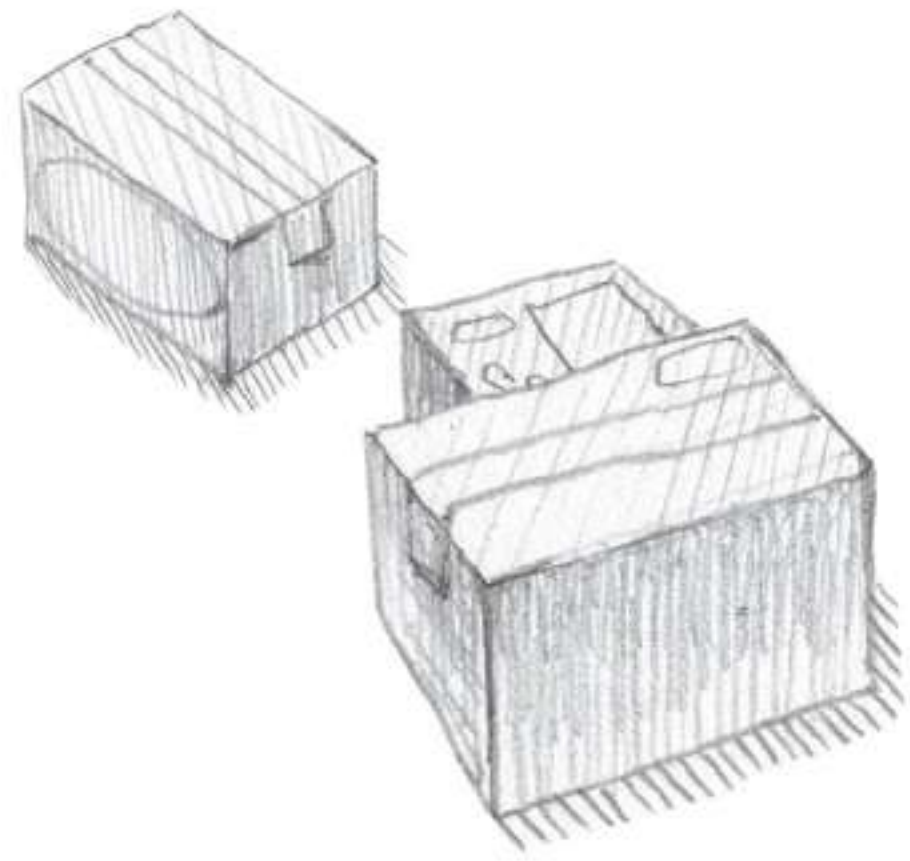
…どうだろう…。

お父さんは…ぼくの本当のお父さんじゃないから…。
ぼくのこと…きつと…ううん、何でもない。



…。留学に来た子たちのお母さんお父さんは
みんなを大切に思ってるのびのび育ててほしいと思ってる。
だから留学させてるのよ。





ほら、碧あおいにも荷物が届とどいてるよ。



ぼくが欲しいほいって言ったゲームのカセットだ…
お母さんとお父さんからのお手紙もある…





そういえば、今、中学2年のたかしさん、前はゲームばかりやってたのよ。家に来た時も、ご飯の時も、お風呂の中でも、寝る時もずっとゲーム。



ええ、怒らなかつたんですか？



そりゃあ注意はしたけどね、まったく聞かないの。



成功したんですか？



だから、その時いた留学生のみんなで、たかしさんをゲームの世界から現実世界に呼びもとそう！って会議を開いたの。たかしさんがやってたのは虫を集めたり魚を釣ったりするゲームなんだけど、その中で集められる虫や魚を実際に取りに行こうっていう作戦になったんだ。





はじめは、横目で見てただけだったけど、
だんだん一緒に取るようになってね。

ゲームで虫や魚の名前をたくさん知ってたから、
生き物博士はかせってみんなに言われていたよ。



すごいですね…

このチョウは…



まあ平日は私がゲーム機を預かるから
ゲームはできないんだけどね。

みんなもはじめはゲーム機がないと
生きていけない！っていうけど、

だんだんゲームと同じくらい
現実世界げんじつも楽しいってことに
気づくんだよ。



そうなんですか、ぼくはまだわからないや



これからゆっくり慣れていけばいいのよ。

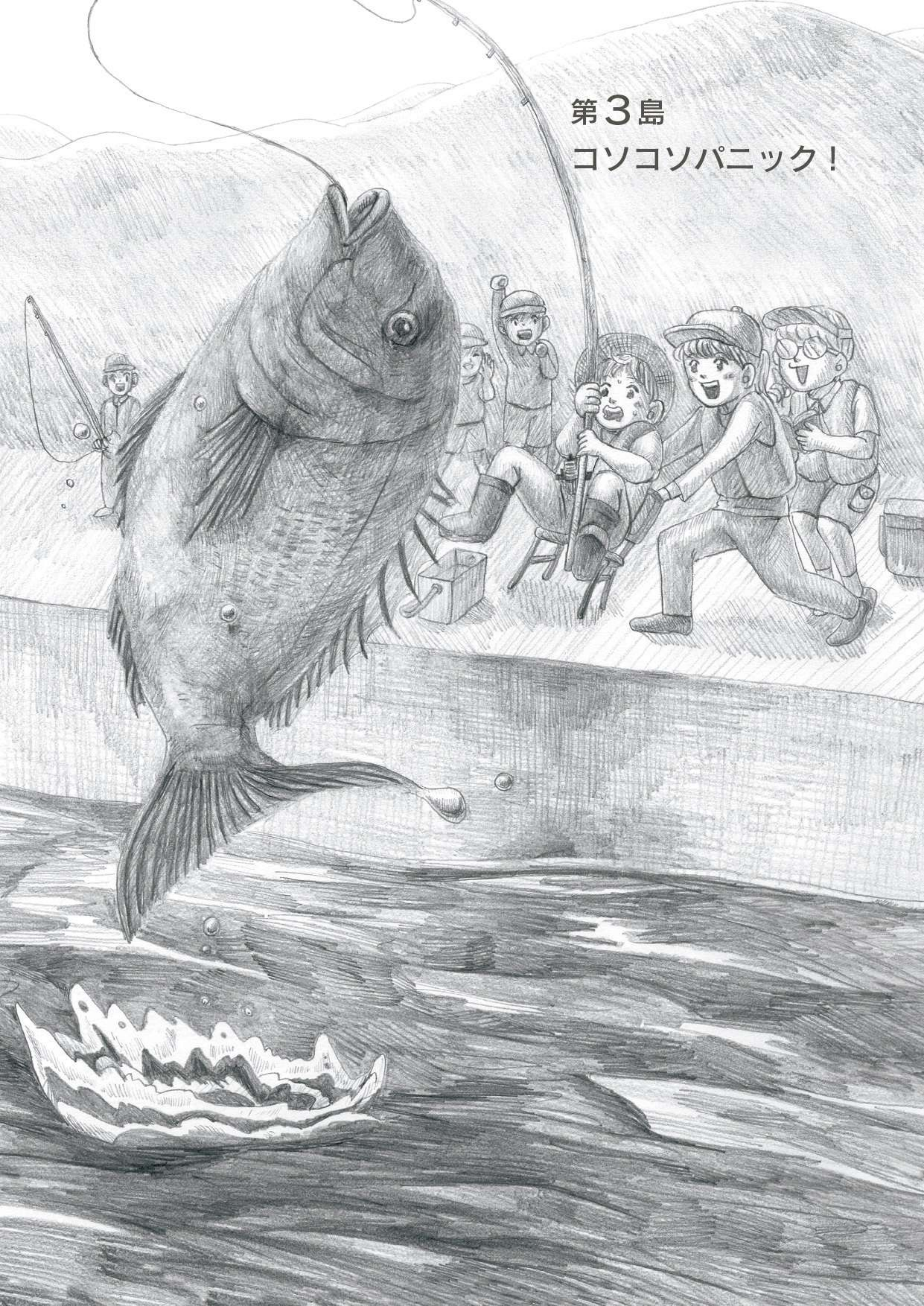




ある島の学校には釣り遠足というものがあるぞ！
みんなで魚を釣って料理するんだ！自分で取った魚はおいしいな～

第3島

コソコソパニック!





海きれい…



学校はプールがないから海で泳ぐし、釣り遠足もあるよ。



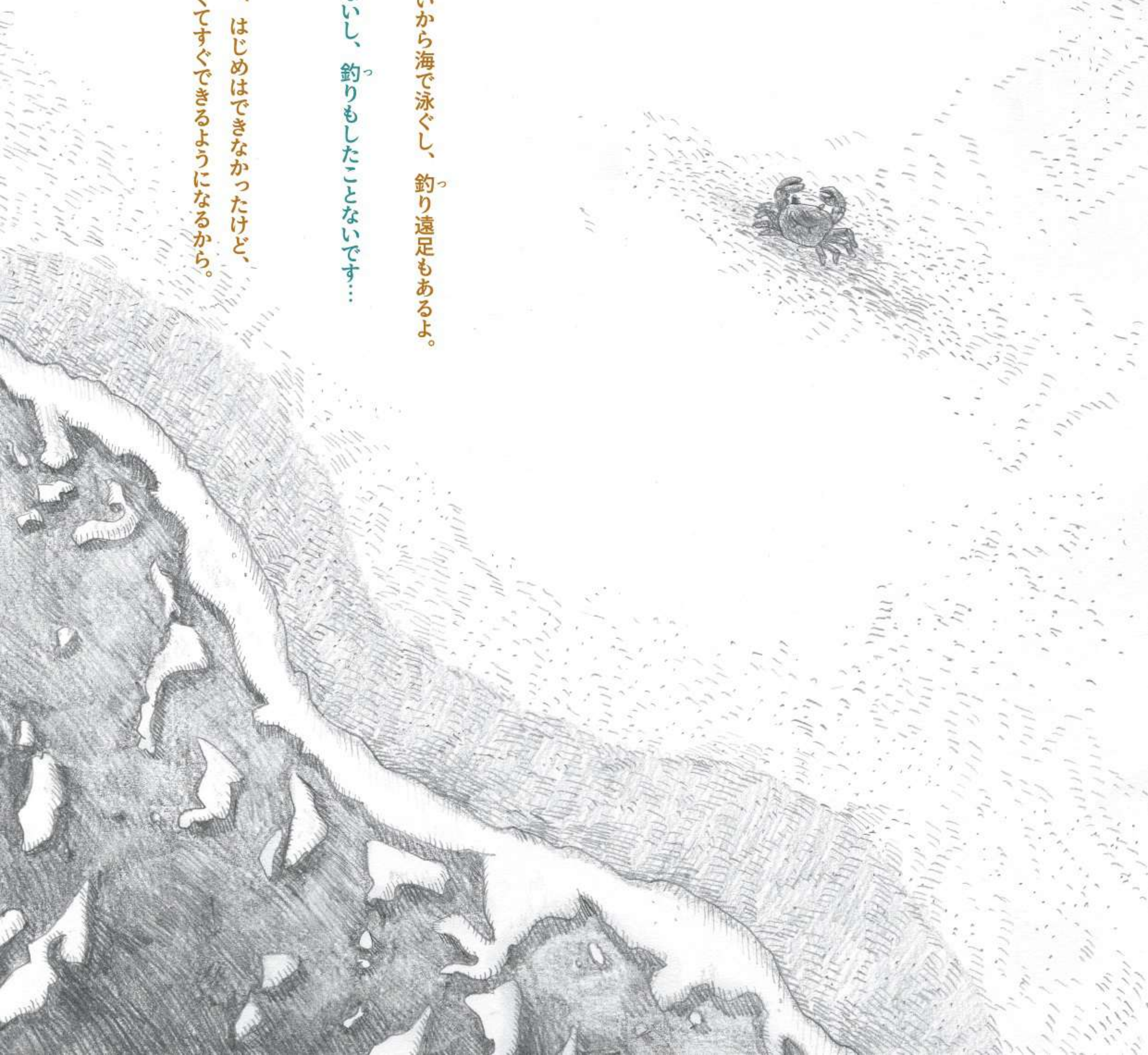
え!? ぼく、泳げないし、釣りもしたことないです…
できるかな…

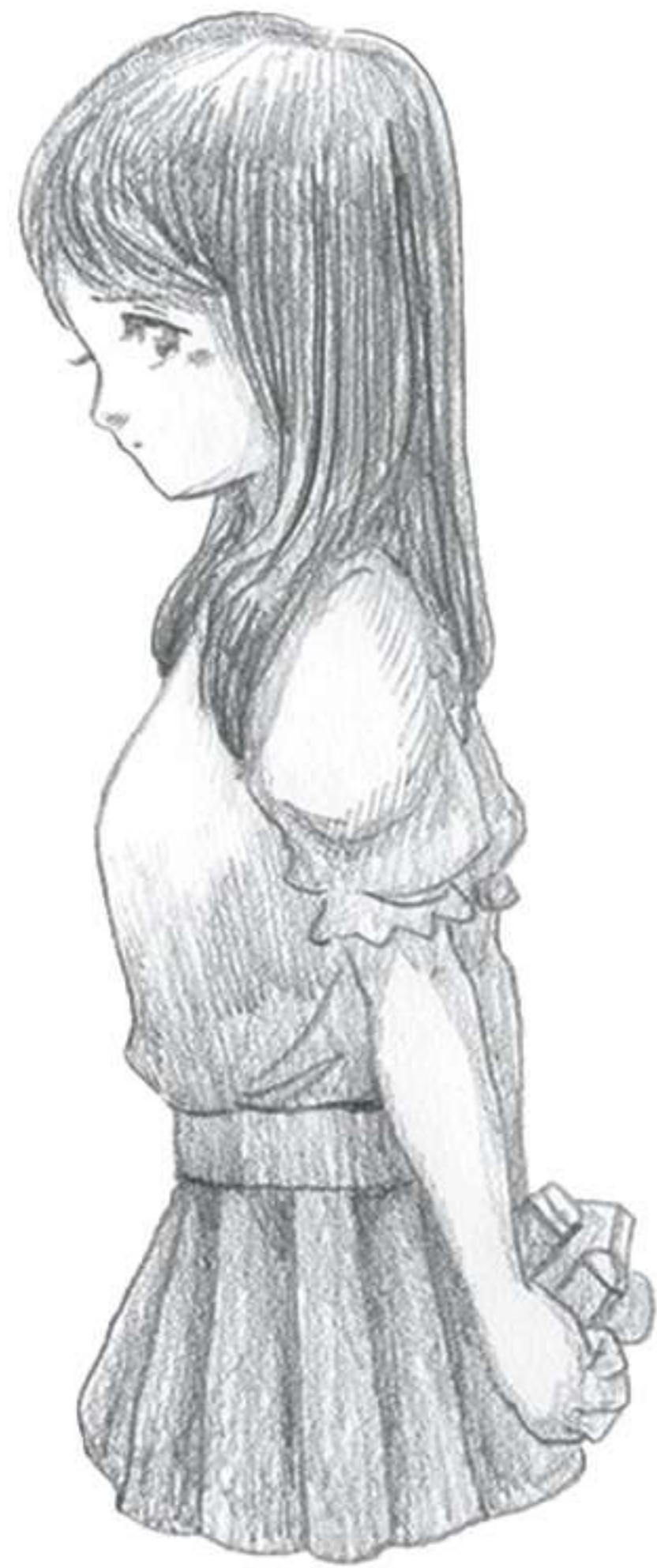


大丈夫、みんなも、はじめはできなかつたけど、
やってみれば楽しくてすぐできるようになるから。



だといいな…





そういえば、人のものをだまって
借りてしまう子もいたね。
そして、怒^{おこ}られたら隠^{かく}れる。
一度、夜になってもなかなか帰ってこなくて、
私たちと学校の先生と島の人たち全員で
大^{だい}捜^{そう}索^{さく}したんだ。



見つかったんですか？





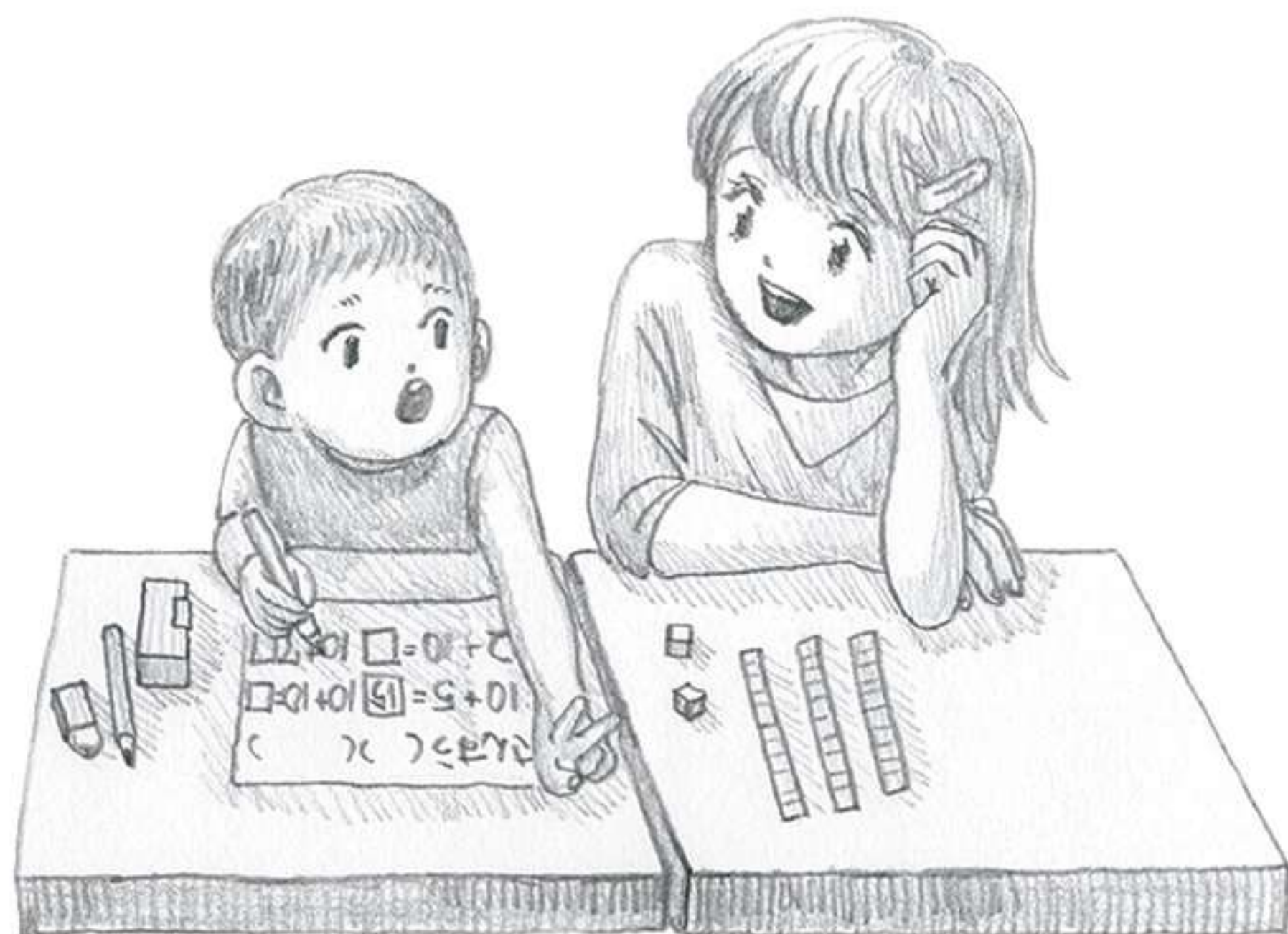
ええ、実は海の岩の奥^{おく}まったところ^{ところ}にいたのよ。
満潮^{まんちよう}になって帰り道^なが無^なくなっちゃって
帰れなくなってたみたい。



無事に帰りついたら、みんなが泣きながら説教してたね。

でもその時に、その子は「たくさんの人が自分なんかのために動いてくれたことにびっくりした」って言った。

それからそういうことはしなくなって面倒見のいいお姉さんになったよ。



(ぼくにとって、すぐそばにある大切なものって…何だろう…)



島には信号も病院も交番も何もないけど何でもあるんだ。本当に大切はものは他人からうばわなくても、すぐそばにある。





ある島には美容室びようしつがない。3か月に1回、本土から出張美容室しゅつちやうびようしつが来てくれるぞ！
やっと切れた！さっぱり～



第4島

ゾロゾロ！アリ^{かんさつ}観察



こんにちは〜！山下さん



おお、中園さん、
こんにちはは、

その隣の子は

伊藤碧さんかな？



何でぼくの名前を知ってるんですか…？



島は良くも悪くも話が回るのが早いからね。
ようこそ、美島へ



そうなんだ…



私はあまり留学生の子たちとは関わりはないんだけど、
一度だけいい思い出があったな〜



聞かせてほしいです



あれは、何年か前だったかな。
この道を散歩さんぽしていたら、うずくまっている子がいたんだ。
何をしてるのかと思ったら…アリの行列を見た。



アリ？



美島村じゅうみんの住民
山下さんとポチ



そう。その子はアリが行列をつくっているのを見たことがなくて、珍めづしかったもんだから
ずっと見てたらしい。



ぼくもネットでは見たことあるけど
本物は見たことないかも

